

## 子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

平成30年●月

市

- ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
  - 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
  - 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
  - ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、  
●月●日(●)までにご返送ください。(切手は不要です。)
  - 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 【お問い合わせ】 市 課 電話：  
FAX：

## ※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

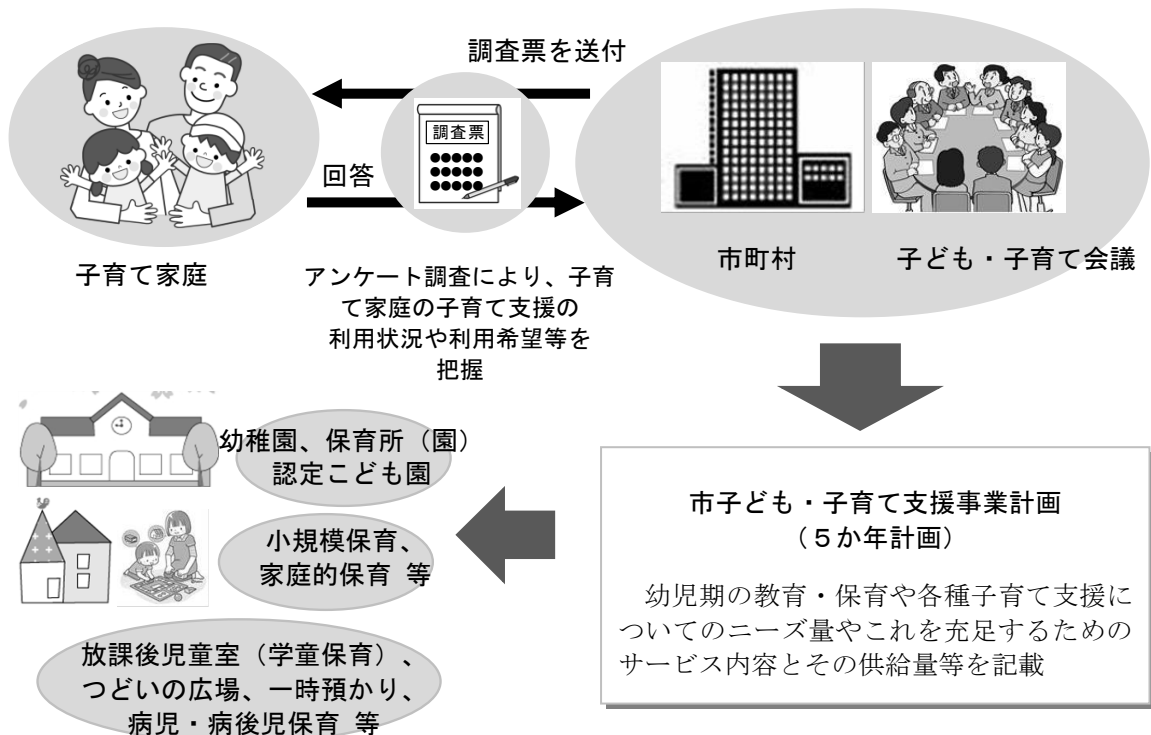
- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

## アンケート調査票に使われている用語の定義

○子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

○教育 : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。  
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。







○問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 子育て支援施設（子育て支援センター、つどいの広場、児童館等）・NPO	
6. 保健所・保健センター	7. 保育士
8. 幼稚園教諭	9. 民生委員・児童委員
10. かかりつけの医師	11. 市役所などの子育て関連担当窓
12. その他（【例】ベビーシッター	）

○問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

◎問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

◎（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	【(1) - 1~】
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	【(2) ~】
6. これまで就労したことがない	

(1) - 1 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
-----------	------------

(1) - 2 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時~18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻（ ）時	帰宅時刻（ ）時
------------	----------

◎ (2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である</li><li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li><li>6. これまで就労したことがない</li></ol>	【(2) - 1へ】
	【問14へ】

(2) - 1 (2)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
( )内に数字でご記入ください。

1週当たり ( ) 日	1日当たり ( ) 時間
-------------	--------------

(2) - 2 (2)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。  
( )内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 ( ) 時	帰宅時刻 ( ) 時
--------------	------------

◎問13 問12の(1)または(2)で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。  
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>
--

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol>
--

◎問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。  
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する ( ) 内には数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1 年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) →1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間
--	---

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1 年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) →1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間
--	---

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

◎問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	---	▶	<b>【問 15—1へ】</b>	2. 利用していない	---	▶	<b>【問 15—5へ】</b>
-----------	-----	---	------------------	------------	-----	---	------------------

◎問 15-1 問 15-1 ~ 問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常就園時間の利用) 2. 幼稚園の預かり保育 (通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの) 4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6 ~ 19 人のもの) 6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業) 7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) 8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設) 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) 12. その他 ( )
--

◎問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間	（ ）時～（ ）時
-----------	------------	-----------

（2）希望

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間	（ ）時～（ ）時
-----------	------------	-----------

○問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。  
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

○問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。  
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

○問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）





○問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
① 子育て支援センターのプーフーウー教室などの親子あそび教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
② 子育て支援センターの育児相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③ つどいの広場	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④ 保健センターのパパママ教室、もぐもぐ教室などの育児教室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤ 保健センターの育児・電話相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥ 幼稚園における子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦ 保育所における子育て相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧ 東三河児童・障害者相談センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

◎問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

○問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

◎問 21 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 ( ) 時から ( ) 時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

○問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

◎問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で「1.」に○をつけた方)にかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。  
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ---▶ 【問 22-1 へ】	2. なかった ---▶ 【問 23 へ】
------------------------	-----------------------

◎問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
ア 父親が休んだ	( ) 日
イ 母親が休んだ	( ) 日
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	( ) 日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日
オ 病児・病後児の保育を利用した	( ) 日
カ ベビーシッターを利用した	( ) 日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	( ) 日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
ケ その他 ( )	( ) 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

▶ 【問 22-5 へ】

▶ 【問 22-2 へ】

問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

◎問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても ( ) 内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ( ) 日 ---▶ 【問 22-3 へ】
2. 利用したいとは思わない ----▶ 【問 22-4 へ】

○問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ( )

----▶ 【問 23 へ】

○問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. サービスの質に不安がある
3. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 父母が仕事を休んで対応する
7. その他 ( )

----▶ 【問 23 へ】

問 22-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

○問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても ( ) 内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ( ) 日 ---▶ 【問 23 へ】
2. 休んで看ることは非常に難しい ----▶ 【問 22-6 へ】

○問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他 ( )

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

◎問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	( )日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	( )日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	( )日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	( )日
5. ベビーシッター	( )日
6. その他（ )	( )日
7. 利用していない	

---▶ **【問 23-1】へ**

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

○問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 特に利用する必要がない                        | 2. 利用したいサービスが地域にない |
| 3. サービスの質に不安がある                       |                    |
| 4. 施設のある場所や利用できる時間・日数などサービスの使い勝手がよくない |                    |
| 5. 利用料がかかる、高い                         | 6. 利用料がわからない       |
| 7. 自分がサービスの対象になるのかどうかわからない            |                    |
| 8. 手続きなどサービスの利用方法がわからない               |                    |
| 9. その他（ )                             |                    |

◎問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ )日
ア 私用(買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的)	( )日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	( )日
ウ 不定期の就労	( )日
エ その他（ )	( )日
2. 利用する必要はない	---▶ <b>【問 25】へ</b>

---▶ 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

○問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス                    |
| 2. 地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもを保育するサービス                 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ )  |

◎問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

○問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難                      2. どちらかという困難                      3. 特に困難ではない

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。**

◎問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 自宅                       | 週（ ）日くらい              |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅              | 週（ ）日くらい              |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい              |
| 4. 児童館※1                    | 週（ ）日くらい              |
| 5. 放課後子ども教室※2               | 週（ ）日くらい              |
| 6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ〕※3        | 週（ ）日くらい→ 下校時から（ ）時まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター          | 週（ ）日くらい              |
| 8. その他（公民館、公園など）            | 週（ ）日くらい              |

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

◎問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館※	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ〔児童クラブ〕	週（ ）日くらい→ 下校時から（ ）時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

○問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。次の（1）、（2）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

△（2）日曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

△（3）祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

○問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	





問 30 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

---▶ 【該当しない方は問 31 へ】

○問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した      |                |

(2) 父親

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した      |                |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

○問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- |                  |
|------------------|
| 1. 4月の一斉入所のときだった |
| 2. それ以外だった       |

(2) 父親

- |                  |
|------------------|
| 1. 4月の一斉入所のときだった |
| 2. それ以外だった       |

○問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。( ) 内に 数字 でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月	希望 ( ) 歳 ( ) か月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月	希望 ( ) 歳 ( ) か月
----------------------	-----------------

○問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。( ) 内に 数字 でご記入ください。

(1) 母親

( ) 歳 ( ) か月
--------------

(2) 父親

( ) 歳 ( ) か月
--------------

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

○問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (               | )                       |

②父親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (               | )                       |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 (              | )                         |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 (              | )                         |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

○問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |  |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した                                    |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)             |

(2) 父親

- |  |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した                                    |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)             |

問 30-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

○問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- |  |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった               |
| 2. 仕事が忙しかった                              |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される                     |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる            |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した               |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                     |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）         |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                |
| 10. その他（ )                               |

(2) 父親

- |  |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった               |
| 2. 仕事が忙しかった                              |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される                     |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる            |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した               |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                     |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）         |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                |
| 10. その他（ )                               |

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

○問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

